

水道ビジョンレビュー
1. 水道ビジョンの目的

○個人用井戸の事故（感染症）事例

井戸水の感染症発生事例

発生日	発生場所	病因物質	原因施設	摂食者数	患者数	備 考
平成15年 3月17日	新潟県	ノロウイルス、ウェルシュ、 黄色ブドウ球菌、 カンピロバクター、大腸菌	飲食店	227	151	
平成15年 6月10日	石川県	ノロウイルス	飲食店	522	76	
平成15年 7月 4日	大分県	腸管出血性大腸菌（VT産生）	家庭	4	3	
平成16年 3月上旬	広島県	大腸菌群が検出されたが特 定できず	家庭	17	15	
平成17年 7月18日	大分県	病原大腸菌群（0168）	キャンプ場	348	273	
平成17年 8月13日	高知県	不明	家庭等	28	16	
平成18年 9月17日	宮城県	A型ボツリヌス菌（芽胞菌）	家庭等	9	1	井戸水の疑い

出典：厚生労働省健康局水道課

水道ビジョンレビュー

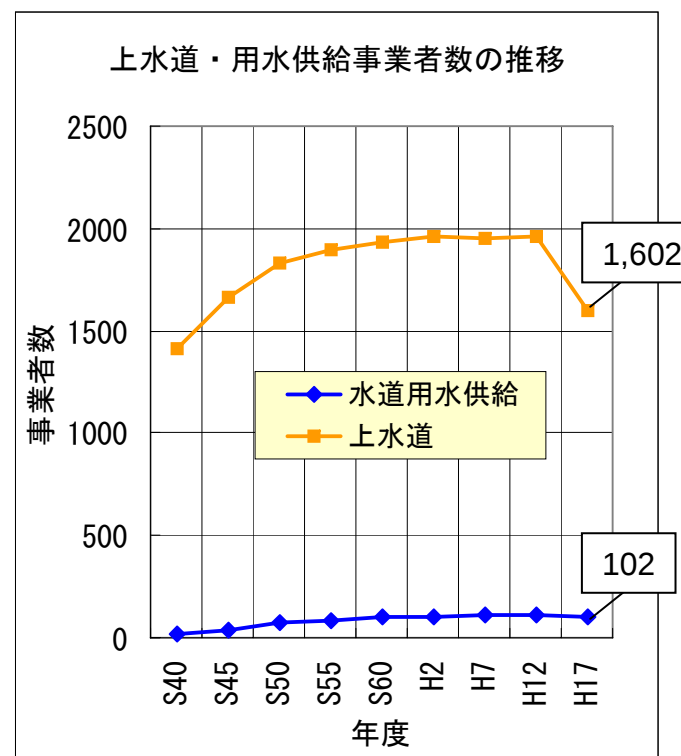
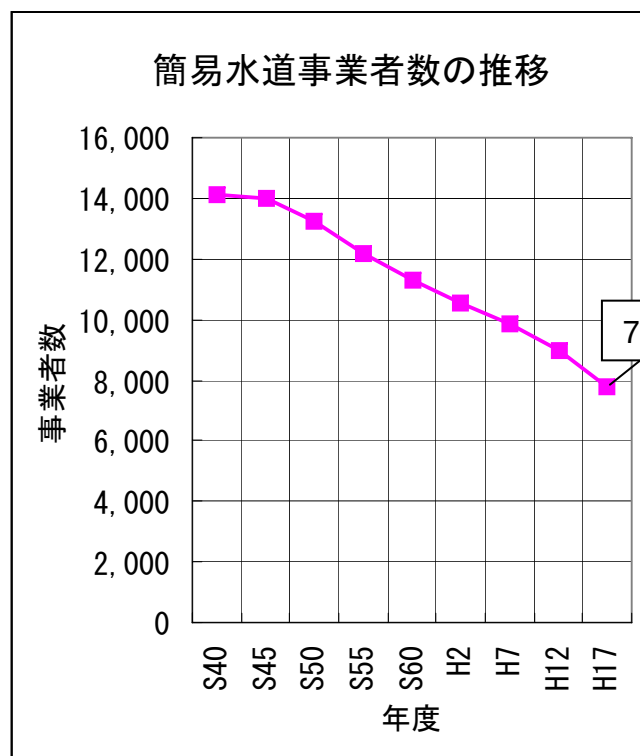
1. 水道ビジョンの目的

○市町村合併と水道事業統合の状況

市町村合併と水道事業統合の状況

	統合		独立	その他	計
	創設	編入			
市町村数	49	34	344	153	580

出典：厚生労働省健康局水道課調査（平成18年4月1日現在）



出典：水道統計

水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

水道ビジョンの記述

本ビジョンの特徴は、水道基本問題検討会の成果に立脚しつつ、現状と将来の見通しを可能な限り定量的に分析、評価し、その結果をもとに今後の水道の在るべき姿について議論し、水道に関わるすべての人々の間で、水道の将来像についての共通認識の形成を目指した点にある。

本ビジョンは、21世紀の初頭において、関係者が共通の目標を持って、互いに役割を分担しながら連携して取り組むことができるよう、その道程を示すことを目的としている。

このようなことから、本ビジョンでは、今後の水道に関する重点的な政策課題とその課題に対処するための具体的な施策及びその方策、工程等を包括的に明示することとした。なお、本ビジョンの目標期間は、21世紀の中頃を見通しつつ、概ね10年間とした。

○水道ビジョン概要図

水道ビジョン －水道関係者の共通目標－

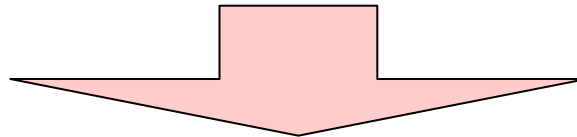
世界のトップランナーをめざして
チャレンジし続ける水道
自らが高い目標を掲げて、常に進歩発展
将来にわたって需要者の満足度が高くあり続け、
需要者が喜んで支える水道



あらゆる分野で世界のトップレベルの水道
<安心><安定>
<持続>
<環境><国際>

経営戦略策定の重要性

- ・水道事業の課題は山積み
 - － 施設老朽化に伴う大規模更新が必要
 - － 安全・快適な水の供給の確保
 - － 災害時にも安定給水を行うための施設水準の向上
 - － 運営基盤の強化
 - － 技術力の確保



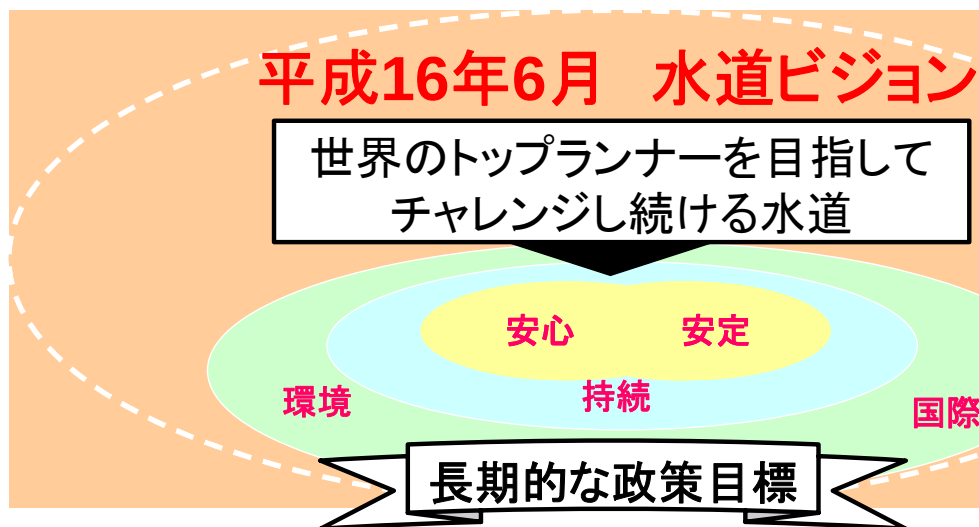
経営戦略を策定し、計画的に実行することが必須

地域水道ビジョン

水道ビジョンレビュー

1. 水道ビジョンの目的

○地域水道ビジョンの策定目的



「水道改革」の主役はそれぞれの
事業者であるため、水道事業者等
による地域ごとに具体的なビジョン
づくりが望まれる

